



## 童話作家・アンデルセンの誕生日は「国際子どもの本の日」

### 実際に作れる豆絵本も掲載！ 「絵本週間」おすすめ絵本企画

3月27日から4月9日は絵本週間。童話作家・アンデルセンの誕生日で、「国際子どもの本の日」でもある4月2日の前後2週間が、この週間に制定されています。

コロナ禍で在宅時間が増え、児童書の活用機会は増えています。そこで、この絵本週間に合わせて、各社おすすめの絵本を紹介する企画を立案しました。

今回の企画のテーマは「ふれる」。名作にふれる、新作にふれる。そして、実際に新聞に「ふれる」仕掛けとして、夕刊最終面10段を使い、紙面を切り折りしてミニサイズの豆絵本が作れるページを用意しました。東京新聞の夕刊では、1面から始まり、中面から最終面までに本企画のページをちりばめ、夕刊全体を通してアピールしました。読者プレゼントの応募には、はがき・ウェブあわせて3,801件の応募が集まりました。読者の方々からは、「孫と一緒に豆絵本を作って楽しみました」「子どもが喜んで豆絵本を作りました」など多くのコメントが寄せられました。

(東京本社出版・エンタテインメント広告部)



新聞を切り折りしてミニサイズの豆絵本が完成！

▲2021年4月2日 中日新聞朝刊・東京新聞朝刊

愛知県内では、星野書店近鉄パッセ店はじめ14店舗、都内では、クレヨンハウスやブックハウスカフェなど人気児童書専門店でブックフェアを開催しました。

プレゼント応募総数  
**3,801件**  
(ハガキ・中日WEB・東京WEB)



▲2021年4月3日・5日 中日新聞・東京新聞夕刊 終面10段

東京WEB応募コメント

- ・子どもが喜んで豆絵本を作りました。同じ！と言って自分の絵本と並べて読んでいます。こんな素敵な企画、またやって欲しいなと思います。(東京都・女性・40代)
- ・新聞を見て実際に折りたんでみて、とてもいい企画だと思いました。子どもが生まれたばかりなので、この本を子どもにプレゼントしたいと思います。(東京都・女性・30代)
- ・豆絵本を子どもが気に入り、何度も「読んで」と持ってきます。紹介されていた絵本も買いたいです。また定期的に行って欲しい企画です。(東京都・女性・40代)
- ・夕刊の豆絵本を孫と一緒に作って楽しみました。これからも孫と一緒に楽しめる企画を楽しみにしています。(千葉県・女性・60代)